



03



02



01



04

晴れて大人の仲間入り

## 新 成人が希望を胸に新たな一歩

新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていた令和3年紀宝町成人式が11月28日、まなびの郷で行われました。今回対象となった新成人は139人で、出席した52人が、振り袖やスーツなどに身を包み、新たな一歩を踏み出しました。

今回も例年通り、新成人が実行委員会を組織し、企画・運営に取り組みました。式では、西田町長が「若い力に大いに期待し、輝かしい前途を祝福します」と祝辞を述べたあと、新成人を代表して稲葉光希さんと佐藤佑さんが「新成人としての自覚を持ち、社会に貢献していくことを誓います」と誓いの言葉を述べました。また、新成人を代表し、成人式実行委員長徳田光希さんが、西田町長から記念品を受け取りました。

Town topics

11/

28

01. 開式の言葉を述べる徳田光希さん。02. 式典の様子。03. 誓いの言葉を述べる稲葉光希さん(左)と佐藤佑さん(右)。04. 司会を務めた莊司ちひろさん。



長きにわたり行政への苦情や相談を受け、解決に尽力

## 久原章作さんに行政評価局長表彰

行政相談委員の久原章作さんが中部管区行政評価局長表彰を受賞されました。

久原さんは平成21年4月から町行政相談委員として、12年の長きにわたり、行政についての苦情や相談を受け、その解決に尽力されています。

久原さんは受賞に際し、「今後も住民のみなさんの日常生活が少しでもよりよくなるよう、お手伝いができればうれしいです」と話していました。

(写真) 中部管区行政評価局長表彰を受賞した久原さん



消防団員として地域安全のために尽力

## 向井住和さんに瑞宝単光章

元紀宝町消防団副団長の向井住和さんが令和3年秋の叙勲において、瑞宝単光章を受章されました。

向井さんは昭和55年1月の入団以来、38年の長きにわたり消防業務や地域の防火意識の高揚などに精励されました。

向井さんは受賞に際し、「団員のおかげで続けることができました。自分一人ではなく、みなさんを代表していただいたと思っています」と話していました。

(写真) 瑞宝単光章を受章した向井さん(左)



新ALTのバレリーさん

交流を通して英語や文化を学ぶ

## 新 ALTとしてバレリーさんが着任

町では、英語や外国の文化、外国人との交流の大切さを子どもたちに学んでもらうため、新たな外国語指導助手(ALT)として、10月26日にアメリカ、テキサス州出身のメルカド・バレリー・レーさんを任用しました。

今後は、スミス・クラーク・ケッターズさんとクルブリー・ジョシュ・ロバートさん、新たに着任したバレリーさんの3人体制でALTとして活動します。

11月15日には、西田町長と面会し、バレリーさんは「英語の楽しさやさまざまな人とつながることができる魅力を子どもたちに伝えたいです」と話していました。

Town topics

11/

15

多くの人に災害救助犬を知ってもらおう

## 「さがせ!ミック」の朗読と講演会を開催

町在住の田中千鶴見さんによる、絵本「災害救助犬ものがたり さがせ!ミック」の読み聞かせと、災害救助犬に関する講演会が、11月20日、はぐくみの森で開催されました。

この絵本は、10年前に発生した紀伊半島大水害の際に、災害現場に駆けつけ、安否不明者を捜す災害救助犬ミックの活躍を描いた物語で、ミックが亡くなり、その姿を残そうと田中さんが3年がかりで絵本を作成し、「第6回絵本出版賞」奨励賞を受賞しました。

田中さんは、「70歳で初めてアクリル画を習い始めました。ミックの活躍を通して、救助犬を広く知ってもらおうと絵本を描くようになりました」と振り返り、朗読をしていました。

Town topics

11/

20



01. 絵本の朗読をする田中さん。02. 絵本原画展を鑑賞する来場者。



山水から水道水に

## 桐原地区に待望の浄水場が完成

桐原地区において町内3か所目となる浄水施設「桐原営農飲雑用水施設」が完成し、11月18日、除幕式および見学会が行われました。

桐原地区は生活用水として山水を利用しており、5つの組合がこれを管理していましたが、少子高齢化が進み、管理が難しくなっていたため、平成29年度から浄水施設の整備が進められました。そして、今回、浄水場が完成し、令和4年2月から順次、水道水が各家庭で利用できる見込みとなりました。

下房義桐原区長は、「ふだんの生活や農業などでおいしい水が利用できることをうれしく思っています」と話していました。

Town topics

11/

18



01. 完成を祝い関係者で除幕を行う。02. 施設内を見学する参加者。

